

横浜市立釜利谷南小学校 令和4年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと教職員、保護者、地域と共にチーム釜南小でインクルーシブ教育に向かう 	
①持続可能な教育活動の在り方の研究（働き方改革を意識した40分授業の検証） ②チーム学年経営強化推進校として（子どもたちを多くの教職員の目で見守り、指導する子に寄り添う体制づくり） ③多文化共生（個性の認め合いと心のバリアフリーについて） この三つの取組を学校HP等で学校教育活動をさらに充実させて発信していく。	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での子どもの学びと教員の研究の学びを止めないために、柔軟な対応力や判断力、レジリエンスを大事にしていく。 	

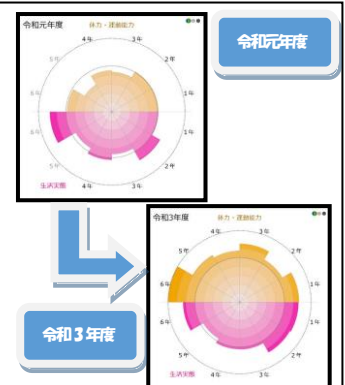
(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
健やかな体		体育学習や様々な運動体験を通して、運動の楽しさを実感し、自ら進んで運動しようとする子どもを育てます。 体を動かすことの習慣化を図り、体力の向上を目指します。	① 朝会の時に、姿勢体操第1・第2に取り組み、体幹や柔軟性、体力の向上に努めます。 ② 休み時間は外遊びを推奨し、運動に対する意欲を高めていきます。ロング昼休みを活用し、体を動かす企画を立て、全校児童が体を動かす楽しさを味わえるようにしていきます。 ③ 学級で長縄跳びに年間を通して取り組むとともに、運動が日常化するようにしていきます。
	担当		

2 体育健康に関する実態把握

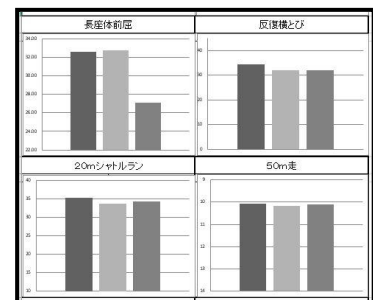
(1) 体育・健康に関する実態

令和3年度の横浜市の体力テストの結果を見ると、どの学年も横浜市の平均をほとんど上回っています。全国的には、コロナ禍において、体力の低下が見られました。しかし、ここ3年間の釜利谷南小学校の記録では、コロナ禍になっても記録が落ちることなく、上昇傾向にあり、相対的に横浜市の平均を大幅に上回る結果となりました。本校では、様々な体育的行事（体力テストやスポーツフェスタなど）も工夫をしてなるべく行ってきました。コロナでできないから中止とするのではなく、できる範囲で行ってきた成果ではないかと思われまます。



(2) 体力の概要と要因の分析

今年度もますますの体力の向上をめざし、週2回に増えたロング昼休みに楽しく体を動かせるような取り組みをしたり、年間を通して長縄跳びに挑戦し、クラスで記録をのばせるように日常的に運動する機会を設けていったりします。また、長年の釜利谷南小学校の課題であった柔軟性においても、月に2回の姿勢体操を、これからも取り組み続けることで、さらなる向上をめざします。



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・一人ひとりがよりよいめあてを設定し、学び合いの場のあり方を工夫することで、より主体的・対話的で深い学びをめざします。
- ・保健学習では、養護教諭と担任が連携して授業を行ったり、薬剤師による薬物乱用防止教室などを行ったりします。

《他教科での取組》

- ・養護教諭や栄養士と連携して、保健の授業を行い、健康教育の充実を図ります。

特活・総合

- ・スポーツフェスタでは、体育科で培った資質能力を生かし、発揮できる場とします。
- ・学校保健委員会では、体の健康と、健全な精神とのかかわりの深さを、体験的に理解していくことをめざします。
- ・自他の生命を尊重し、主体的に他者とかかわっていこうとする態度を養います。
- ・集団でのゲームなど、運動することを通して、粘り強くやり遂げる・きまりを守る・集団に参加し、協力するなどの態度を養います。

課外活動

- ・夏休み期間中に、希望者を対象に水泳の指導を行っています。タイム記録をのびたい児童も、泳ぎ方を覚えたい児童も、自分のめあてに向かって技術の向上をめざしています。
- ・休み時間に体育館パスポートで校長先生と楽しく運動したり、たてわり活動でしっぽりを行って体を動かしたりしています。

令和4年度 釜利谷南小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体育行事の充実

《ねらい》 子どもたちが体を動かすことの楽しさや心地よさを味わうとともに、その必要性を認識することで運動を好きになり、積極的に運動に取り組めるようにします。

《内容》

- ・姿勢体操 毎月2回、朝会と児童朝会の日には全校児童で音楽に合わせて姿勢体操第1と第2を交互に行います。これにより、さらに柔軟性と体幹を高めていきます。
- ・ロング昼休み 毎週火曜日と木曜日にある、ロング昼休みを活用し、たてわりグループでしっぽりゲームをしたりジョギングをしたり学級でレクをしたりと、運動に親しむことができる機会を増やします。休み時間には外遊びを推奨し、みんなで楽しく体を動かす経験を養います。
- ・運動的集会 体を動かすことができる集会（年間を通しての長縄など）を、集会委員会が企画し、各学級に取り組んでもらうようにします。ゲーム感覚で行い、学級で協力しながら記録をのびしたり、集会当日に向けて練習をしたりしていき、楽しく運動する機会を増やします。

●指 標： ①行事後に、取り組み前から後にかけての、児童やクラスの達成感を教師がみとり、ふりかえります。

②体力テストの結果、生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証します。

＜参考＞ 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」